

玉名地域

くに 郷づくり通信

天草地域

伝統の米蔵「高瀬蔵」、今、芸術文化の創造拠点としてよみがえる



菊池川の水運に恵まれた玉名市の高瀬地区は、米などの集散を行う港町として古くから繁栄し、今でも、伝統的な商家や蔵が数多く残っています。しかしながら、近年、大型店やディスカウントストアの郊外への出店などの影響で、中心市街地としての求心力が衰退しつつあります。

そこで玉名地域では、昔のようなにぎわいのある風景を取り戻そうと、地元住民と行政が力を合わせ、古くから残る商家と蔵

を利用して伝統の米蔵「高瀬蔵」を再生させました。多目的ホールとレストランを併設した「高瀬蔵」は、活気のある街の中核施設として、また、芸術文化の創造拠点として、期待されています。

4月29日(金・祝)にはオープニングイベントとして、玉名市高瀬町出身でウイーン国立歌劇場など世界のひのき舞台上活躍中の日本を代表するオペラ歌手、佐々木典子さんのコンサートを開催します。

高瀬蔵の多目的ホールはどなたでも利用できます。また、運営に当たる「NPO法人高瀬蔵」では、芸術文化とまちづくりを進める会員を募集しています。皆様のご参加をお待ちしています。



●お問い合わせ先

NPO法人高瀬蔵(事務局:玉名商工会議所内)

☎0968-72-3106 FAX0968-72-3110 電子メール tmo-t@tamana-cci.or.jp

ホームページ http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/index.html

天草の海と人々の生活をテーマに「熊本県富岡ビジターセンター」オープン



4月23日(土)、天草灘を見下ろす天草郡苓北町の富岡城跡に「富岡ビジターセンター」がオープンします。当センターは、「天草の海と人々の生活」をテーマに、天草西海岸の自然や歴史、人々の暮らしなどを映像や展示物で分かりやすく紹介する施設です。内部は、天草西海岸の概要を説明する「エントランスゾーン」のほか、三つのゾーンから構成されています。

「天草西海岸の世界ゾーン」は、雲仙天草国立公園の一角に位置する天草西海岸の地形や動植物を立体映像などで楽しめます。「海と人々の関わりゾーン」は、天草の人々が海とのかかわりの中ではなくてきた歴史や文化、暮らしを紹介します。「インフォメーションゾーン」は、天草地域の観光情報を提供するほか、インターネットや映像資料で自然環境について調べることができる視聴コーナーやレクチャールームがあり、野外活動の拠点としても利用できます。

天草西海岸の自然や歴史、文化と触れ合う出発点「富岡ビジターセンター」。

皆様のご来館をお待ちしています。



■開館時間/9:00~17:00 ■料金/無料

■休館日/毎週水曜日(祝祭日の場合は翌日)および12月30日~1月1日

※オープンに合わせて4月23日(土)・24日(日)に「お城祭り」を開催します。

●お問い合わせ先/熊本県富岡ビジターセンター

☎・FAX 0969-35-0170

来て見てだより

県施設の催しご案内

■県立美術館本館(熊本市) ☎096-352-2111 http://www.museum.pref.kumamoto.jp/

5月8日(日)まで

常設展 | 「細川三代・アメリカの版画工房から」



肥後細川家の基礎を築いた藤孝(幽斎)、忠興(三斎)、忠利の三代の書画などを展示します。

休館:月曜日(祝祭日の場合は翌日)

有料:一般260円(190円)

大学生160円(120円)

高校生以下無料

()は団体料金

■熊本近代文学館(熊本市) ☎096-384-5000 http://www.library.pref.kumamoto.jp/

5月9日(月)まで

熊本近代文学館収蔵品展 平成16年度に収蔵した夏目漱石の奥太一郎あて書簡や上村古魚の遺品などを公開します。無料。

休館:火曜日(祝祭日の場合は翌日)、毎月末日

■伝統工芸館(熊本市) ☎096-324-4930 http://cyber.pref.kumamoto.jp/kougsei/

4月29日(金・祝)~6月12日(日)

「くらしの工芸展」にみる生活提案展

「くらしの工芸展」歴代グランプリ作品を振り返り、日常生活の中での工芸品とその魅力を紹介。

有料:一般200円、大学生130円、高校生以下無料

休館:月曜日(祝祭日の場合は翌日)

■くまもと県民交流館(パレア)(熊本市) ☎096-355-1187 http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/

受講生募集!! 開講7月

男女協働政経塾「自分にチカラを!!」

政治、法律、経営、コミュニケーション能力開発、起業支援など実学的な講座を開設します。

受講料:3,000円程度 対象:18歳以上の熊本県内在住者

募集期間:5月1日(日)~6月20日(月)

■装飾古墳館(山鹿市) ☎0968-36-2151 http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/

5月3日(火・祝)~5日(木・祝) 10:00~15:30

こどもの日イベント「古墳館へ5・5・GO!!」

火おこし体験(無料)や色付け勾玉(まがたま)づくり(有料)、展示解説などの楽しいイベントが盛りだくさん。有料:勾玉のみ材料費200円・一般のみ入館料が必要

■グランメッセ熊本(上益城郡益城町) http://www.grandmesse.or.jp/ ☎096-286-8000

5月20日(金)~21日(土) インフォネットフェスティバル2005

地域の企業支援のための商談会。基調講演や実践セミナー、コンサートなど楽しいイベントも開催。どなたでも参加できます。無料。

■環境センター(水俣市) ☎0966-62-2000 http://www.kumamoto-eco.jp/

5月7日(土)10:00~16:00 干潟どろんこ観察会

八代海の干潟に入り、どろんこになってムツゴロウやトビハゼと遊び、海の浄化作用を考えます。場所:宇城市 有料:大人1,000円、子ども500円 定員:45人 申込:往復はがきなど〒867-0055 水俣市明神町55-1(申込多数の場合抽選) 申込期間:4月30日(土)まで

■農業公園(カントリーパーク)(菊池郡合志町) http://www.country-park.jp/ ☎096-248-7311

5月6日(金)~15日(日)

第14回「春のバラまつり」

75種類約2,600株の多種多様なバラが見どころを迎えます。期間中は、バラ苗などの販売や音楽コンサート、物産館フェアなども開催します。入園料:大人310円、高校生以下無料

■菊池少年自然の家(菊池市) ☎0968-27-0066 http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/kikuchi/

5月3日(火・祝)~5日(木・祝) [2泊3日]

こどもの日フェスティバル「自然に親しむ少年のついで」 深緑の菊池高原や竜門ダムで大自然に親しみ、ポート体験などの野外活動と、生活体験を通して豊かな心を育てます。有料:1人5,000円 定員:50人 対象:小学3年生~中学生 申込:電話(申込多数の場合抽選) 申込期間:4月17日(日)~23日(土)

■豊野少年自然の家(宇城市) ☎0964-45-3855 http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/toyono/

4月29日(金・祝)~30日(土) [1泊2日] 家族でエンジョイ!

日本一の石段とキャンプファイアー

3333段の石段登りへの挑戦、キャンプファイアーなどを通して、家族のきずなや、ほかの参加者との交流を深めてみませんか。 有料:2,500円程度 定員:10家族(40人程度) 対象:小学生または中学生を含む家族 申込:電話(申込順) 申込期間:4月16日(土)~22日(金)



■天草青年の家(上天草市) ☎0969-56-1650 http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/amakusa/

5月3日(火・祝)~

4日(水・休日) [1泊2日]

ふれあいファミリー

親子ハイキング、ニュースポーツ、イルカウォッチング体験を通して、春の天草を満喫しませんか。 有料:1人3,000円程度

定員:100人 対象:家族 申込:往復はがき

〒861-6102 上天草市松島町合津5500番地

(申込多数の場合抽選) 申込期間:4月20日(水)まで

■あしきた青少年の家(葦北郡芦北町) ☎0966-82-3092 http://www.parea.pref.kumamoto.jp/manabi/as-hikita/

4月29日(金・祝)~5月1日(日) [2泊3日]

春のあしきた

わくわくキャンプ

芦北を舞台に、春の息吹を感じながら、ポートや

洞くつ探検などを一緒に楽しませんか。

有料:6,000円程度 定員:40人程度 対象:小学5年生~中学生

申込:通常はがき〒869-5454 葦北郡芦北町鶴木山

(申込多数の場合抽選) 申込期間:4月15日(金)まで

■このほかにも、いろいろな催しを行っています。

詳しくは各施設まで直接お尋ねください。

「県からのたより」へのご意見をお待ちしています。

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「県からのたより」係 ☎096-385-2096 FAX096-386-2040 電子メール kouhou@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/

R100 本誌の発行に100%再生紙を使用しています。 大粒のインクを使用しています。

16 総政広 ⑥ 001-6